

みのり高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	必履修	単位数	教科書	副教材
実用国語		2	なし	
評価方法	添削指導(計6回)、試験(年2回)、面接指導(年2回)での評価			

指導目標

普段何気なく使用している日本語を正しく理解、使用できるようにすることで、読み解く力を養い、コミュニケーション力向上を目標とする。

〔評価の観点〕

【主体性】日本語の特徴や使い方を学び、それを普段の生活に活かすことができる。

【知識・技能】正しい日本語の使い方を知り、会話や本にある言葉の「読み解く力」がある。

【思考・判断力・表現力】考えたことを、より多くの言葉で言語化することで、深く考えることができる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画(実施内容)
第 1 回 提出期限 5月 15 日		偏やつくり、棒の長さ、つき出るか、つき出ないか、点があるか、ないかなどに注意する。	漢字の演習、尊敬語の演習。
第 2 回 提出期限 6月 16 日		熟語や訓読みを思い浮かべて使い分けを理解する。 特別な意味を持つまり文句を慣用句という。実際には「足が棒になった」りしていない。	漢字の演習、敬語使った文章問題、言葉の意味を理解する、慣用句について。
第 3 回 提出期限 7月 15 日		主語と述語の関係をとらえる。 文章の組み立てを考える。	漢字の演習、主語を文節で答える問題、言葉の並び替え問題。 ■ 前期単位認定試験【7月】(3年) ■ 前期単位認定試験【9月】(1,2年)
第 4 回 提出期限 10月 15 日		似ているけれど違う言葉。言い回し。 別の文章で置き換えられる類義語もある。	類義語、対義語、動詞の未然形と活用の種類について。
第 5 回 提出期限 11月 14 日		いくつかの言葉が結び付いて、特別な意味を表す。個々の慣用句の言葉の結び付きや意味、使い方を理解する。	漢字の演習、類義語、対義語、慣用句について。
第 6 回 提出期限 12月 15 日		誤った表記にならない様に正しい漢字、敬語を習得する。但し、言葉は時代と共に変化する場合がある。	漢字の演習、敬語を使った文章問題、言葉の活用について。 ■ 後期単位認定試験【12月】(3年) ■ 後期単位認定試験【1月下旬～2月上旬】(1,2年)

